

## 第 17 回 シンポジウムのご案内

拝啓 平素は格別のお引立てを賜り厚く御礼を申し上げます。

医療経済研究機構では、我が国の医療経済研究の一層の発展に寄与するため、下記要領にて第 17 回シンポジウムを開催いたします。当シンポジウムは、弊機構設立の趣旨でもある「医療をめぐる議論の活発化」の一事業として開催しており、賛助会員のみならず、幅広い皆様方にもお集まりいただき、演者の方々と共に議論を深めたいと考えております。多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

### － 記 －

1. テーマ : 「医療・介護の連携を考える ～在宅医療を中心として～」
2. 日 時 : 平成 23 年 9 月 27 日 (火) 13:00～17:00
3. 会 場 : ニッショーホール  
東京都港区虎ノ門 2 丁目 9 番 16 号 TEL : 03-3503-1486
4. 次 第 :
  - 基調講演 : 「超高齢社会における医療介護政策の展望」  
辻 哲夫 氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 執行委員/教授)
  - パネルディスカッション  
座 長 : 宮武 剛 氏 (目白大学人間学部 人間福祉学科 教授)  
パネリスト : 辻 哲夫 氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 執行委員/教授)  
野中 博 氏 (野中医院 院長 / 東京都医師会 会長)  
蘆野 吉和 氏 (十和田市立中央病院 院長)  
秋山 正子 氏 (株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション 代表取締役/所長)  
太田 貞司 氏 (神奈川県立保健福祉大学 教授)

本年の介護保険制度の改正や社会保障改革をめぐる議論にもみられるように、可能な限り住み慣れた地域・住まいで暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築は、医療・介護政策をめぐる大きな課題となっている。この地域包括ケアシステムの実現に向けた取組みの大きな柱の一つは、医療との連携強化であり、中でも在宅医療、訪問看護等の充実強化が求められている。

こうした動きを背景に、本シンポジウムでは、我が国における医療と介護の連携をテーマに取り上げ、特に在宅医療を中心として、医療と介護のシームレスな連携を行う意義、連携の現状と課題、今後の方向等を様々な角度から検討したい。

5. 参加費 : 無料
6. 申込方法 :
  - ・参加お申し込みは、専用申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail ( [info@ihep.jp](mailto:info@ihep.jp) ) にてご連絡ください。
  - ・先着順で受付いたします。満席の場合は申し訳ございませんがその旨ご連絡いたします。予めご了承ください。
  - ・お申し込みは 9 月 20 日 (火) までをお願い致します。  
参加証を当機構より 9 月 22 日 (木) に送付致しますので、当日受付にてご提示願います。

以 上